

自己評価シート

三国丘みのりこども園

1. 園の教育目標

当学園では教育理念として、『一人ひとりを見つける保育の実現』『主体的に生きる力を育む保育の実現』『仲良しの心・思いやりの心を育てる』を掲げています。また教育目標として、本園でめざす幼児像は次の4項目になります。

1. 丈夫な子ども
2. 素直な子ども
3. 進んで取り組む子ども
4. 心豊かな子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教職員が自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教育・保育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい編成している。	自園における教育課程の編成に参考になるよう、外部説明会や研修会に園長等が出席している。
教育・保育要領の子どもの実態などをもとに考えて作成している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にできるように努めている。 身体と心の発達を意識した保育を工夫している。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、週案及び日案の作成に反映させるようにしている。 行事案は、詳細に保育計画を立て、実践し、その振り返りを行い、次へと繋げられるよう改善を提案している。
学期ごとに各年限の成果と課題を報告する。	各年限で月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を報告し合うようにしている。その結果を翌期に反映させていくよう努めている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人一人の子どものよさを認め、教職員が総合的に子どもを見る目を養うように努めている。
あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	子どもが自発的に工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を準備するようにしている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう。	登園から降園までの一日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。 特に、集団生活が初めてであるので、衣服の着脱、睡眠や食事、といった事柄も丁寧に家庭と連携を取りながら進めていった。 手洗いうがい、消毒の指導を徹底した。 保育環境における密の回避を意識しながら、子ども達の発達への援助に努めた。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	学園全体研修を行い、年度初め、夏期及び冬期において、研修を行った。 又、教育・保育的問題の度に園内研修を行い質の向上に努めている。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、教職員間において提供し、共有化を図るようにしている。職員が研修に参加し、「やりがい・目標」へと繋げていく。
園マニュアルを熟読し、職員としての質の向上をはかる	定期的にマニュアルを読み合わせ、意識統一を志している。
園だよりや合同研修会をとおして園の情報を発信していく。	園の教育方針や取組を情報発信するように園だよりに記載し、積極的に取り組んでいく。

教育目標や短期経営目標と連鎖した評価項目を作成し、目標・実行・評価・改善のサイクルを確立する。	PDCAサイクルを常に念頭におき、さらに充実した教育になるように努める。
---	--------------------------------------

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

理 由
<p>全教職員が自己評価の主旨を十分に理解し、真摯に自己点検、自己評価、自己啓発に取り組んでいる様子が見られた。今後も客観的な目で、自らの教育や保育を振り返り、さらに充実した保育実践ができるように努力を積み重ね継続していきたい。園内の円滑なチームワークを高める為に、情報を共有する事を意識し、報告することを日々日課として行い、職員の周知が出来た。「新しい生活様式」を基に保育のあり方や保護者との関わり、生活の仕方を含め、制限のある中で、保育環境や計画を何度も検討し、安全、安心な保育を日々施行錯誤している。生きる為に『今』必要な事を考えつつ、子どもの心身の発達を大切にしたい保育をしてゆきたい。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	<p>現在ホームページや園だより、参観日などを通して保護者への通知・案内には取り組んでいる。保護者がより知りたい情報を発信していく為、内容を充実出来るよう検討し、メールの配信システムを導入した事で緊急時等の園情報を提供出来るようになった。又、個人情報の観点から、園ホームページ閲覧を保護者限定にする為にパスワードを導入した。</p>
自己点検、自己評価	<p>基本の項目は最低限の点検課題として挙げている。各教職員が自己課題を見付け、その課題に対して自己研鑽に取り組むよう努めている。職員が自らの強化したい課題への技術の修得や保育の向上の為の取り組みを行いたい。又園全体の事項を周知・共有してゆく。</p>
指導計画の編成	<p>指導計画を作成する際に、園を取り巻く環境や子供の実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。</p>